

テーマ：多要素認証

メディアで活発に情報収集している企業からリードを獲得する

ABMレポート／メール連動特集

申込締切：2024年5月20日

特集期間：2024年5月1日～2024年9月30日

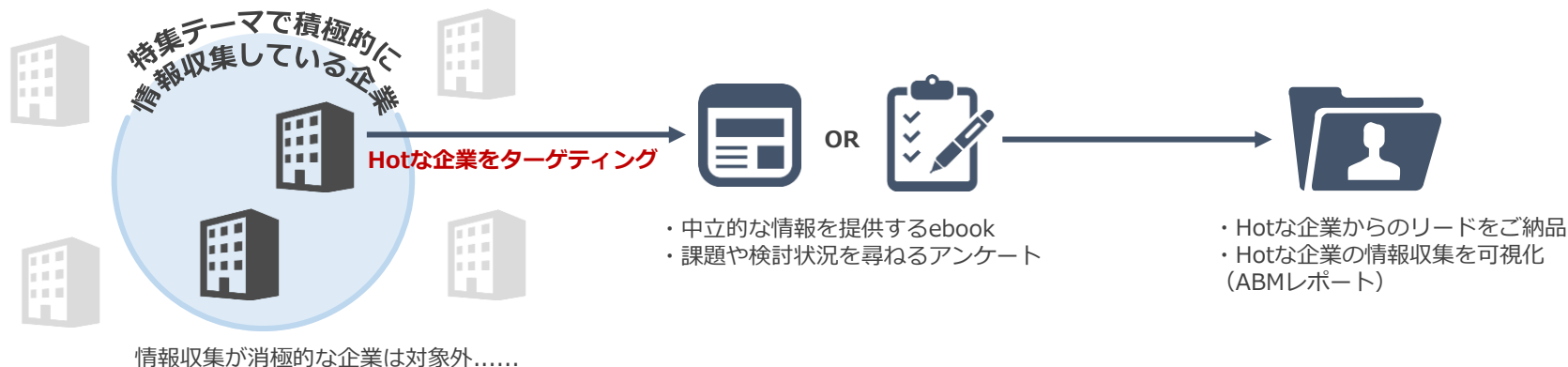
※ 5か月間ご利用いただける長期特集です。5月のABMレポートは協賛決定次第、納品されます

「多要素認証」について活発に情報収集している企業からリードを獲得

アイティメディアで情報収集する企業の中から、特集テーマに関心があるHotな企業をターゲティング

Hotな企業へ特集コンテンツを誘導、ebookの閲覧もしくはアンケート回答からリードを獲得

リード個人の情報に加えて企業の情報収集に関するレポートが付属、より具体的なシナリオの営業活動へ



※ebook閲覧もしくはアンケート回答から想定150-300件のリード獲得（特集期間合計）
※製品ジャンル：認証サーバ、アクセス管理、電子署名／透かし／PKI、認証デバイス
ゼロトラスト／SASE／SDP、アイデンティティ管理、IT資産管理

特集でターゲティングするHotな企業は「ABMレポート」のランキングから確認可能

アイティメディアで情報収集する企業の中から、特集テーマに関心があるHotな企業をターゲティング

HotなeBook回答

特集テーマで積極的に情報収集している企業

活発度が高い企業を並べたランキング

Hotな企業をターゲティング

情報収集が消極的な企業は対象外.....

※特集期間全体で合計150-300件想定

アイティメディアの「ABMレポート」（ユーザ企業／情シス子会社指定）

ランク	企業名	変化 ②	獲得状況 ③	最終獲得時期 ④	推奨リード数 ⑤	業種	本社所在地	従業員規模	売上規模	分野トップ ⑥	ベンダートップ ⑦
1	パナソニックホールディングス(株)	1	0人		0	25_電気機械器具製造業	大阪府	10000名以上	1兆円以上	DevOps／DevSecOps	マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社
2	(株) エヌ・ティ・データ	1	0人		0	32_情報サービス業	東京都	10000名以上	1兆円以上	クラウドセキュリティ	International Information System Security Certification Consortium, Inc
3	キヤノン(株)	-2	0人		0	25_電気機械器具製造業	東京都	10000名以上	1兆円以上	DevOps／DevSecOps	テクマトリックス株式会社
4	みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)	1	0人		0	32_情報サービス業	東京都	2000～4999名	1000億円～1兆円未満	DevOps／DevSecOps	マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社
5	ソフトバンク(株)	-1	2人	直近3か月	2	30_通信業	東京都	10000名以上	1兆円以上	クラウドセキュリティ	New Relic株式会社
6	三菱電機(株)	0	1人	直近3か月	1	25_電気機械器具製造業	東京都	10000名以上	1兆円以上	DevOps／DevSecOps	マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社
7	太日本印刷(株)	0	1人	直近1か月	1	28_その他の製造業	東京都	10000名以上	1兆円以上	クラウドセキュリティ	アマゾン ウェブ サービス ジャパン 合同会社

積極的に情報収集しているHotな企業を見逃さず、商談機会ロスを防ぎます。

レポートの各企業には、法人マイナンバーとLBCコードが付属しますので、展示会などで獲得したリードの優先順位づけにも活用いただけます

個人の動きと企業の動きを組み合わせたリードフォローを実現

個人の動き ※各リード単位



①②のどちらかが必ず付属

①閲覧したebookから見える検討レベル
入門編？専門的？ Ex. 「多要素認証（MFA）」の仕組みやメリット、課題とは？

②アンケート回答から読み解く検討状況
「ゼロトラストの取り組み状況」「認証技術の導入・検討状況」など

企業の動き ※各企業単位



ABMレポートからデータ提供

①各企業の閲覧コンテンツから見える検討状況
Ex. Gartnerが推奨する「OTシステム」のセキュリティ対策“最重要ポイント”とは
Ex. テレワーク安全策「認証」「ネットワーク可視化」「自宅用ゲートウェイ」とは？

②特にコンテンツを読んでいるベンダーから「シナリオ」を組立
自社の競合A社のコンテンツをよく読んでいる → 選定ポイントが自社製品に近い
自社とよく併用されるB社のコンテンツをよく読んでいる → 同時に検討してもらうチャンス

個人×企業の動き を組み合わせ

優先的にフォローすべき企業と、提案すべきシナリオがわかる
(例)

→個人の興味関心による情報収集なのか、企業全体で進行している導入検討なのか
→テレワーク環境のセキュリティが課題なのか、IoT環境のセキュリティが課題なのか
→選定ポイントは何か、すでに利用しているセキュリティ製品はなにか

の情報に加えて、企業の情
況に関するレポートが付属、より
リードフォローができます



- ・ Hotな企業からのリード
- ・ Hotな企業の情報収集を可視化 (ABMレポート)



各リードの個人的な活動に加えて
企業全体の動きまで考慮された
リードフォローが実現可能



ご提供内容詳細

5 か月間継続して開催する特集です。複数社協賛型のため定価よりお得に各商品がご利用いただけます

ご提供メニュー	定価	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ABMレポート ※ 5 か月間／毎月更新 ※ターゲット企業を指定したデータの紐づけも可能	¥ 1,700,000	4 月 は お 申 込 み 終 了 し て お り ま す					
月次定例会 ※ABMレポートの活用促進のために毎月開催可能、ISR/BDRチームも同席をおすすめします	-						
リード獲得 ※アンケート/ebookから獲得	-						
ABMメール配信 ※リード獲得のため誘導	¥ 1,000,000						
アンケートページ製作費 ※リード獲得に使用	¥ 300,000						

▼特集ご協賛価格

¥ 1,800,000

※想定獲得リード数：150～300件（5月/8月の合算）

※リードは協賛全社で共有されます（シェアリード）

定価 ¥ 3,000,000

▼申込締切：2024年5月20日

※特集期間：2024年5月1日～2024年9月30日

※5月のABMレポートは協賛次第アクセス可能

※複数社協賛型のため、他社の協賛状況により開催できない場合がございます

※掲載するプライバシーポリシーは原則 1 社までとなります

※販売パートナー等と共同出展の場合のみ、合計 2 社まで掲載を承ります

※ご協賛いただける場合、以下の提出物を担当営業までご提出ください。

- ・リード情報の納品先（お名前、メールアドレス、部署名）
- ・パーミッション取得時に掲載するプライバシーポリシー

Appendix

- 掲載予定コンテンツ
- アンケート回答（前回実績）
- 獲得リード抜粋（前回実績）

参考：掲載予定コンテンツ

ebook

- 「パスワードのいらない世界」は間近 考えるべき“4大ポイント”とは？
- 「危ないテレワーク」を防ぐ“6つの対策”とは？
- パスワード不要の認証「パスキー」のすごさとは？
- iPhoneが火を付けた「パスワードがない未来」を実現するには？
- わが会社のOT機器が人命を奪う日 乗っ取られる前にやるべきことは？
- Microsoft 365の「MFA」（多要素認証）はなぜ破られた？ 設計上の“誤算”とは
- 「パスワードレス認証とは」の前に考える、企業のセキュリティ（仮題）
- ユーザーへの「危ない権限付与」をどう防ぐ？ AIで考える新しいID管理（仮題）

※特集期間中にさらに追加する場合がございます

アンケート設問

- セキュリティ認証システムに不安を感じている／改善したい分野があれば、いくつかも教えてください。
- 現在利用しているセキュリティ認証システムについて、課題があれば教えてください。
- セキュリティ認証システムの導入検討について、あなたの立場を1つお選びください。
- 勤務先のSASEの導入状況を1つ選択してください。
- 勤務先のセキュリティにおいて重要視するソリューションをいくつかも選択してください。



クラウドネイティブ時代のセキュリティ強化とAI/SecOpsの活用

本書は、クラウドネイティブ時代のセキュリティ強化とAI/SecOpsの活用について、最新の技術動向と実践的なノウハウを解説しています。AI/SecOpsの活用によるセキュリティ強化のメリットとデメリット、導入の課題と対策、具体的な導入事例などを詳しく解説しています。

目次

- 1. クラウドネイティブ時代のセキュリティ強化の重要性
- 2. AI/SecOpsの活用によるセキュリティ強化のメリットとデメリット
- 3. AI/SecOpsの導入の課題と対策
- 4. AI/SecOpsの具体的な導入事例

アンケート

1

クラウドネイティブの概念についてどう考えていますか？ (必須)

☐ 熟悉しており、取り組みを推進している

☐ 興味があり、現在情報収集している、取り組みを始めようとしている

☐ 興味はあるが、まだ具体的に動き始めてはいない

☐ 知っているが、関心はない

☐ 詳しくは知らない

2

クラウドネイティブ環境を実現する目的、理由をいくつかも教えてください。(必須)

☐ 開発スピードの向上

☐ 開発コストの削減

☐ リリース頻度の向上

☐ 品質の向上

☐ インフラ設備の高速化

☐ インフラの標準化

☐ 運用管理業務の効率化

☐ 運用プロセスの標準化

☐ アプリケーションの拡張性・変化適応力の向上

☐ アプリケーション改善サイクルの高速化

☐ 効率化、自動化

☐ 人材育成

☐ 開発スキルの高次元への対応

☐ メンバーのモチベーション向上

☐ 経営方針

☐ 全社的なDXの推進

☐ ビジネスモデルのデジタル化の推進

☐ 競争優位性の確保

☐ エンドユーザー満足度の向上

☐ その他の目的、理由、または特に興味していない

3

クラウドネイティブ関連技術の導入・検討状況をお選びください。(必須)

☐ 導入中

☐ 検討・情報収集段階

☐ 技術について知っているが、導入・検討していない

☐ 知らない

4

クラウドネイティブについてどのような情報が必要としていますか？ いくつかも選択してください。(必須)

☐ 成功事例



アイティメディア株式会社 営業本部

Mail : sales@ml.itmedia.co.jp

会員プロフィールや特集予定、お問い合わせはこちら
<https://promotion.itmedia.co.jp/>